注1　ＬＦＳＲは線型フィードバックシフトレジスタを示す。

2　ＮＦは非線型論理を示す。

3　映像信号のスクランブルと音声信号のスクランブルに用いる擬似乱数符号系列の生成のための初期値は同一とする。

4　映像信号のスクランブルに用いる擬似乱数符号系列は、次のとおりとする。

⑴　フリーランの場合

フィールド	伝送走査線番号	擬似乱数符号系列		
		スクランブルに使用しないビット	擬似乱数2 最上位ビット … 最下位ビット	擬似乱数1 最上位ビット … 最下位ビット
1	⋮	⋮	⋮	⋮
	22			
	23	$(P_6\ P_5)$	$(P_2\ P_3\ P_4\ P_5\ P_6\ P_7)$	$P_8\ P_9\ P_{10}\ P_{11}\ P_{12}\ P_{13}\ P_{14}\ P_{15}$
	24	$(P_{16}\ P_{15})$	$(P_{18}\ P_{19}\ P_{20}\ P_{21}\ P_{22}\ P_{23})$	$P_{24}\ P_{25}\ P_{26}\ P_{27}\ P_{28}\ P_{29}\ P_{30}\ P_{31}$
	⋮	⋮	⋮	⋮
	86	$(P_{1084}\ P_{1085})$	$(P_{1086}\cdots P_{1035})$	$P_{1034}\cdots P_{1028}$
	87	$(P_{1031}\ P_{1025})$	$P_{1024}\cdots P_{1003}$	$P_{1002}\cdots P_{1000}$
	⋮	⋮	⋮	⋮
	262	$(P_{3024}\ P_{3025})$	$P_{3026}\cdots P_{3031}$	$P_{3032}\cdots P_{3034}$
	263	$(P_{3040}\ P_{3041})$	$P_{3042}\cdots P_{3047}$	$(P_{3048}\cdots P_{4046})$
2	264			
	⋮	⋮	⋮	⋮
	285			
	286	$(P_{3056}\ P_{3057})$	$(P_{3058}\cdots P_{3063})$	$P_{3064}\cdots P_{3073}$
	⋮	⋮	⋮	⋮
	349	$(P_{4001}\ P_{4055})$	$(P_{4054}\cdots P_{4071})$	$P_{4072}\cdots P_{4076}$
	350	$(P_{4088}\ P_{4089})$	$P_{4090}\cdots P_{4095}$	$P_{4084}\cdots P_{4096}$
	⋮	⋮	⋮	⋮
	525	$(P_{7000}\ P_{7001})$	$P_{7002}\cdots P_{7007}$	$P_{7008}\cdots P_{7020}$
	1	$(P_{7005}\ P_{7007})$	$P_{7008}\cdots P_{7013}$	$(P_{7104}\cdots P_{7132})$
1	2			
	⋮	⋮	⋮	⋮
	22			
	23	$(P_{7112}\ P_{7113})$	$(P_{7114}\cdots P_{7120})$	$(P_{7180}\cdots P_{7191})$
	⋮	⋮	⋮	⋮

備考　1　転移する走査線の範囲が第23走査線から第262走査線まで及び第286走査線から第525走査線までのときの例示である。

2　擬似乱数符号系列の生成器に初期値がロードされた時点の別図第五号１の排他的論理和の出力ビットの値をP_0とし、以下ｉクロックシフトした後の排他的論理和の出力ビットの値をP_iとする。

3　（　）内は、スクランブルには使用されていないことを示す。

⑵　Ｖロックの場合

フィールド	伝送走査線番号	擬似乱数符号系列		
		スクランブルに使用しないビット	擬似乱数2 最上位ビット … 最下位ビット	擬似乱数1 最上位ビット … 最下位ビット
1	⋮	⋮	⋮	⋮
	22			
	23	$(P_6\ P_5)$	$(P_2\ P_3\ P_4\ P_5\ P_6\ P_7)$	$P_8\ P_9\ P_{10}\ P_{11}\ P_{12}\ P_{13}\ P_{14}\ P_{15}$
	24	$(P_{16}\ P_{15})$	$(P_{18}\ P_{19}\ P_{20}\ P_{21}\ P_{22}\ P_{23})$	$P_{24}\ P_{25}\ P_{26}\ P_{27}\ P_{28}\ P_{29}\ P_{30}\ P_{31}$
	⋮	⋮	⋮	⋮
	86	$(P_{1084}\ P_{1085})$	$(P_{1086}\cdots P_{1035})$	$P_{1034}\cdots P_{1028}$
	87	$(P_{1031}\ P_{1025})$	$P_{1024}\cdots P_{1003}$	$P_{1002}\cdots P_{1000}$
	⋮	⋮	⋮	⋮
	262	$(P_{3024}\ P_{3025})$	$P_{3026}\cdots P_{3031}$	$P_{3032}\cdots P_{3034}$
	263	$(P_{3040}\ P_{3041})$	$P_{3042}\cdots P_{3047}$	$(P_{3048}\cdots P_{4046})$
2	264			
	⋮	⋮	⋮	⋮
	285			
	286	$(P_{3056}\ P_{3057})$	$(P_{3058}\cdots P_{3063})$	$P_{3064}\cdots P_{3073}$
	⋮	⋮	⋮	⋮
	349	$(P_{4001}\ P_{4055})$	$(P_{4054}\cdots P_{4071})$	$P_{4072}\cdots P_{4076}$
	350	$(P_{4088}\ P_{4089})$	$P_{4090}\cdots P_{4095}$	$P_{4084}\cdots P_{4096}$
	⋮	⋮	⋮	⋮
	525	$(P_{7000}\ P_{7001})$	$P_{7002}\cdots P_{7007}$	$P_{7008}\cdots P_{7020}$
	1	$(P_{7005}\ P_{7007})$	$P_{7008}\cdots P_{7013}$	$(P_{7104}\cdots P_{7132})$
1	2			
	⋮	⋮	⋮	⋮
	22			
	23	$(P_6\ P_5)$	$(P_2\ P_3\ P_4\ P_5\ P_6\ P_7)$	$P_8\ P_9\ P_{10}\ P_{11}\ P_{12}\ P_{13}\ P_{14}\ P_{15}$
	⋮	⋮	⋮	⋮

備考　1　転移する走査線の範囲が第23走査線から第262走査線まで及び第286走査線から第525走査線までのときの例示である。

2　擬似乱数符号系列の生成器に初期値がロードされた時点の別図第五号１の排他的論理和の出力ビットの値をP_0とし、以下ｉクロックシフトした後の排他的論理和の出力ビットの値をP_iとする。

3　（　）内は、スクランブルには使用されていないことを示す。